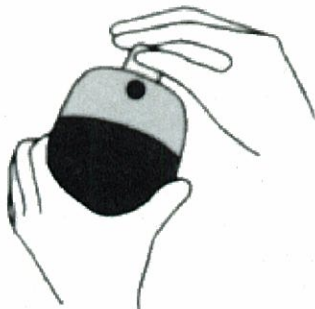


## 気密試験

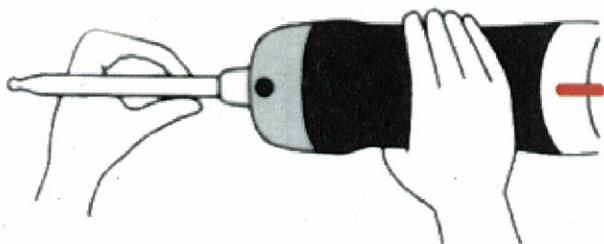
気体採取器に漏れがある場合は正しく測定を行うことが出来ません。測定前に下記の方法で気体採取器の気密試験を行ってください。

### 試験方法

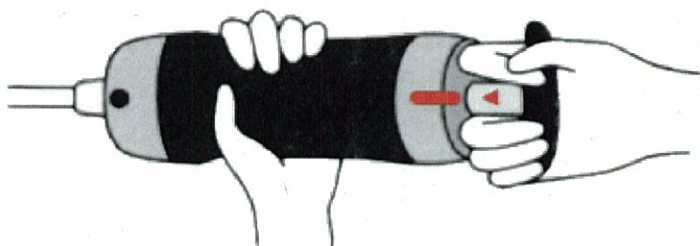
- 1 採取器の入り口ナットが緩んでいないことを確認します。



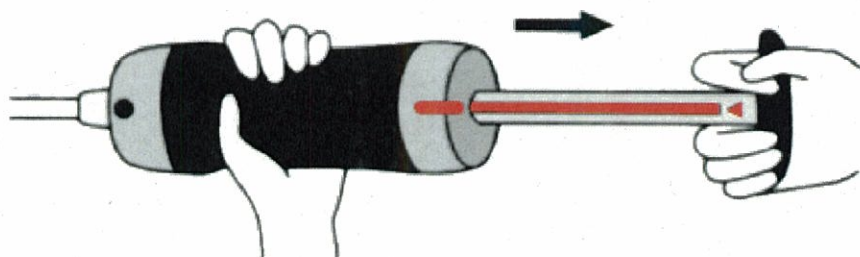
- 2 両端を折り取っていない気体検知管をインレットゴムに差し込みます。



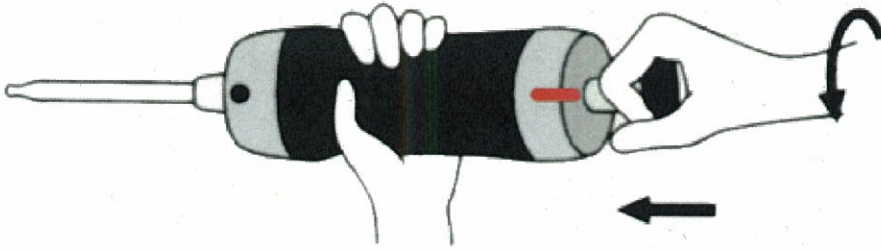
- 3 ハンドルが押し込まれた状態で、テールブロックのガイドライン(赤色)とハンドルのガイドマーク(▲100)を合わせます。



- 4 ハンドルのガイドライン(赤色)に沿ってハンドルを一気に最後まで引きます。固定されますのでハンドルから手を放し、約1分待ちます。



- 5 ハンドルに指をかけながら90度回します。ハンドルが戻ります。このとき、ハンドルのガイドラインが見えなければ機密性は良好です。



注)

ハンドルを戻すときは、指をかけたまま一定の力で支えつつ徐々に戻してください。指を放すとシリンダ内が真空状態のため、ハンドルが急激に戻り大きな衝撃音を出します。また衝撃は気体採取器の故障の原因となります。

気体採取器に漏れがある場合

気密試験でハンドルを戻したとき、ハンドルのガイドラインが見える場合は漏れがありますので取扱説明書の保守にしたがって点検とグリスアップを行ってください。漏れが直らない場合は修理が必要ですのでお買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。

[◀前画面へ戻る](#)   [◀リストへ戻る](#)   [▲一番上へ](#)

Copyright(c) 2006 GASTEC CORPORATION. All rights reserved.